WEEKLY BULLETIN 2023-2024
第2510地区 Rotary 札幌東ロータリークラブ
7月13日(木) 第2号
第3053回 例会

本日のプログラム

就任挨拶(2) 副会長・幹事・理事・役員

就任挨拶(1) 会長・副会長

和田一仁　会長

会員の皆さま、第65代会長の和田一仁です。本日より一年間、よろしくお願いします。入会は2000年、退会されましたが寿産業の会長鈴木俊幸さんのお誘いで入会いたしました。お付き合いで１年くらいで辞めるつもりが、気がつくとはや23年、また、こうして会長まで拝命しました。私は強く自覚していませんが、それだけわが札幌東ロータリークラブ、そしてロータリークラブには魅力があったのだと思います。

私は職業分類が電気機械修理のワコオ工業及びグループとして６社の経営に携わっています。横浜、千葉、岡山県倉敷、フィリピンに事業所並びに会社があります。グループ全体で120人余り、売上高は20億程度です。

私は昭和30年(1955年) ７月13日水曜日仏滅の日に札幌で生まれました。母が私を産んでくれた後、病気となり兄弟がおりません、一人っ子です。なので結婚32年目になりますが、妻にはがんばってもらって男３人、娘１人の４人の子供がいます。まだ長男始め皆独立していません。次男は東京で通信系の会社、三男は今年から北海道銀行の岩内支店に、娘はIT系に勤めております。今年68歳であります。２歳の時から、現在の白石区平和通に住んでいます。札幌市白石区柏丘中学校の先輩には朝倉正人会員がいらっしゃいます。札幌東高を卒業し、勉強を極めたくて札幌予備学院で２年間の浪人生活、勉学に励む事なく青春を考え、小樽商科大学へと進みました。その後、父が創業した従業員４人の会社を継ぐべく、大阪の会社へ丁稚奉公し、昭和57年(1982年)今のワコオ工業に入社し現在に至っています。43歳に心臓の冠状動脈バイパス開胸手術、もう一度62歳の時おなじ手術をしました。右脳底には26ミリの巨大動脈瘤があります。随分弱くは成りましたが、お酒は好きです。ゴルフはかってオフィシャルハンデ13になりましたが、忙しいのと体力との兼ね合いでほとんどできていません。今、得意なクラブは良く飛ぶパターです。自己紹介はこの辺にします。

2020年の雪まつりからコロナ禍が川幡年度、犬嶋年度、髙橋年度、そして井上年度後半まで続きました。例会もリモートが取り入れられ、計画の実行も慎重となり、例会も自粛せざるを得ませんでした。そのような状況下でも各年度の会長が環境と会員の健康に配慮しながら勇気と決断力を持って五大奉仕活動を進めてきてくれました。ここに改めて、各会長のお骨折りに敬意を表する次第です。本当に有難うございます。

コロナの影響が少なくなった今年度、過年度の会長の思いを踏襲しながら今年度の活動を深めていきたいと思います。

私の年度においては五大奉仕活動の、職業奉仕を中心に据えて、例会、会員相互の親睦、そして65周年事業、IM、地区大会への参加・活動を進めていきます。これは、アフターコロナ後の混沌とした時代こそ、歴史は繰り返すの言葉にあるように、歴史を学びそこに創立者ポール・ハリスの考え、120年に迫ろうとするロ

■本日のロータリーソング
我等の生業

2023-2024年度 国際ロータリーのテーマ
「世界に希望を生み出そう」
国際ロータリー会長：ゴードンR.マッキナリー
CREATE HOPE in the WORLD

ータリーの歴史を刻んできた先人の教えを参考にしていきたいのです。そうは言うものの、私はとても勉強不足で大先輩の皆さま、会長幹事経験者の皆さまのお力添えそして何より会員の皆さまのご理解とご協力なしで奉仕活動は進められません。どうかよろしくお願いいたします。

さて、ロータリーの本質を十分理解しないままの私見で恐縮ですが、ロータリー活動の運営は企業や組織におけるマネジメントと、とても似ているように思います。企業では経営理念、経営戦略、実行していくための経営戦術を定め、検証を重ねながら次のステップへと進みます。

私たちの札幌東ロータリークラブにおいても、職業奉仕での学びを会社や組織の隆盛につなげて、その会社や組織のステークホルダーと共に幸せを共有していく。でもそれは自分達だけの幸せにとどまらず周りも幸せにする行動に繋げていく。個々の会社や組織の奉仕は限定的かもしれませんが、110人の会員を有するわがクラブが一丸となると、それは地域へのとても大きな奉仕活動ではないかと考える次第です。

とはいえども、原理原則は会員の皆さんが楽しくなければ、仲間同士が仲良くなければうまく進めることはできません。そのためには、例会、周年行事、IM、地区大会への参加を通じて、仲間同士が仲良く和気藹々そして切磋琢磨して自分の職業を向上させていきたいのです。

その一環として、クラブ内だけではなく、他の職業領域、市内道内国内のクラブそして海外のクラブに訪問、交流しながら語り合い、笑顔を交換しながらわが札幌東ロータリークラブへの理解を深めていきます。それによって、会員各位の事業が発展できれば一層の奉仕につながるものと思います。

さて、３年余りのコロナ禍で、政治・経済・文化・情報の変化と共に、人の心や行動様式も今までとは違ってきています。在宅ワークによる帰属意識の低下、混沌とするアフターコロナ時代、格差の増大等、更に人の考え方や行動には、もっと大きな変化がやってくるかもしれません。これは、今後の会員増強に影響するかもしれません。

一例にコロナ禍での自殺者の増加が上げられます。＝令和4年のデータでは21,881人、前年より874人(4.2%)の増、10歳から19歳の自殺者が796人、10歳未満の自殺も２名など、胸が痛くなる思いです。また、ネットを通じて人と接する事を良しとしない生活パターン、「今だけ、金だけ、自分だけ」を主張し、社会で大きな声を出す人をもてはやすそんな風潮に変わりつつあるようです。

そのような時代背景ですが人流も回復し、経済や文化活動も動き始めています。私たち札幌東ロータリークラブもその活動を力強く進めるときです。一方で、会員の皆さまにご理解と協力をお願いしたいことがあります。私の年度で、会費の値上げと先輩方が積み上げてくださった剰余金の活用をお願いしたいのです。皆さま、ご案内のように様々な商品・サービス価格が上がっています。年間20万円の会費で長年、会を運営してきました。しかし、コロナそしてウクライナでの紛争を契機として会運営の支出が増え、今まで通りの会費では予算を組む段階でいかように努力をしても赤字運営となる事が見えてきました。

例えば今まで通りの金額で今まで通りのサービスをこの札幌パークホテルさんに望むことは不可能です。インターアクトへの支援や移動例会時のバス費用にしても、ひと昔の倍近くの出費となっています。

このように、出費の増大が明らかなうえ、会員各位のため更に周囲の期待に応えて活動を盛んにしようとすると、今まで以上に出費が増大し、収入について考えざるを得なくなりました。また、RI方針の一つ、ポリオの根絶に向けての寄付も是非ともお願いしなければなりません。なぜなら、ポリオ根絶に寄付している会員は世界では約12人に１人という現実を私たちは認識して、歴史と伝統ある札幌東ロータリークラブ会員は真剣に取り組む事が必要と思います。

会員各位にも様々な事情があるのを重々承知の上で、値上げをお願いする次第です。会費の値上げが退会のきっかけとならないよう、今後、私や幹事、役員は、理事会での論議をお伝えし、丁寧に説明を重ね、委員会活動を通じて、厳しい会運営の実体を伝えてご理解をいただけるよう努力いたします。どうかお願いいたします。

次に、井上年度で本間会員が初めての女性会員として入会されました。地区ガバナーの方針では女性会員比率10%が示されています。流石にわがクラブで早急に10名の女性会員を増やす事は、現状甚だ困難であり急ぎすぎの感は否めません。今年度、女性会員２名入会を目標としますが、慎重にまた昨年入会した本間会員と学び合い楽しめるような方をお誘いしたいと考えています。女性会員が入会していく流

れを会長エレクトと相談しながら進めていきます。

さて、わがクラブは来年３月14日創立65年を迎えます。10年ごとの大きな事業ではありませんので規模を追う事はしませんが、職業奉仕に注目し会員の事業発展に資する行事を進めたいと思います。

今後、各委員会の活動方針が示される事になります。まず、メークアップは本クラブの方針に戻り、２週間以内に出席補填してもらうよう周知を図ります。また、コロナの影響で活動できなかった青少年交換プログラムなどの国際奉仕活動を進めます。

入会歴の浅い会員には各委員会活動と共にFSMを通じてロータリーの楽しさ、仲間と一緒の奉仕活動の素晴らしさをお伝えしたいと考えます。それには元会長の皆さまや先輩諸氏との対話やご指導が必要となります。是非、応援とご協力をお願いいたします。

ところで、RIや地区からはクラブの長期戦略を明示せよとの指示があります。机上の空論は簡単ですが、自クラブの歴史を振り返る事なく、将来をいくら語ってもあらぬ方向へ向かう恐れもあります。繰り返しになりますが私は65年の節目にロータリークラブの歴史、日本のロータリー、そしてわが札幌東ロータリークラブの歴史を皆さまと共に学び直し、次の10年、20年そして創立100年のわがクラブの姿を考えたいと思います。

皆さまご案内のように今年は山口史朗第60代会長が、2510地区のガバナー補佐を務められます。山口元会長には責任ある大変なお役目ですが、わが東クラブにとってはとても名誉なことです。山口ガバナー補佐においてはインターシティミーティング（IM）、地区大会が最大の山場です。また、わがクラブの名誉もかかっています。IM、地区大会共に全員登録全員参加を目指して周知を図って参ります。どうか、よろしくお願いします。

最後となりましたが、今年の会長方針は「ロータリーを学び楽しみ行動して、仲間と共に夢と希望を分かち合おう」は、今述べさせて頂いた思いからでた言葉です。また、私自身がブレないようにと四書五経の大学の一節、修身斉家治国平天下をクラブ運営方針に記載しました。

これは修身斉家治国平天下を私なりに解釈して、自分自身、ロータリアンとしてしっかりしよう、それで家族が幸せになり、組織や会社も安定し、世の中や社会も平安になっていく、そのためにもロータリアンとして自分自身を正していこう、と言う私自身への戒めです。

また、運営方針を補完する言葉として

～ロータリーと自分の職業に誇りを持って発展させ、家族を幸せに仲間には思いやりを、そして仲間との切磋琢磨を通じて心を高め、世のため人のために奉仕していこう～

を後日配布される活動計画書でご一読くだされば幸いです。

私の年度末に北島三郎が歌う兄弟仁義の一節「俺の目を見ろ、何にも言うな」論理を超えた阿吽の呼吸が会員同士で生まれてくだされればこの上ない喜びです。

一年間よろしくお願いいたします。

出倉恵隆　副会長・クラブ奉仕委員長

このたび歴史と伝統のある札幌東ロータリークラブのクラブ奉仕担当の副会長を務めさせていただきます。何分力不足ゆえ、会員皆様のご指導を仰ぎ、和田一仁会長の方針を良く理解し、健全なクラブ運営に微力を尽して参ります。

さて、私の担当いたしますクラブ奉仕委員会には、クラブ運営に係わる11の委員会があります。出席・職業分類・クラブ会報・親睦活動・雑誌・会員選考・会員増強・プログラム・広報・ロータリー情報・音楽委員会です。今年度は創立65周年という慶事の年を迎えます。いつもの年以上に積極的なクラブ内での活動が必要となります。そのためには、クラブの定款・細則にある各委員会の任務を充分に理解し、ロータリーを愛する心と社会に役立つ奉仕への思いを形にかえていける規模のクラブであることに感謝をし、先輩会員の努力に敬意を払い、次の年度へと確実に継承して行かなければなりません。

「基本」「親睦」「奉仕」を実践し、記憶に残る１年にしたいと思います。